

◀ Unit 3 He is famous. She is great. 「人物紹介」のコミュニケーション活動 ▶

別紙 1

	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時
活動	Small Talk①	Small Talk②	Small Talk③	Activity 「クイズ作り」の導入	Small Talk④	Activity 「Who is this?クイズ」
既習表現	5年 Hi, friends! 1 Lesson 6 What do you want? What do you want?	5年 Hi, friends! 1 Lesson 4 I like apples. Do you like apples? Lesson 5 What do you like? What color do you like?	5年 We Can! 1 Unit 9 Who is your hero? (He/She) is (kind/great/cool)	5年 We Can! 1 Unit 5 She can run fast. He can jump high.	5年 We Can! 1 Unit 3 What do you have on Monday? I study (math).	これまでの既習表現全て
話題	「好きなみそ汁の具」 S1: What do you want in the miso soup? S2: I want pumpkin. S1: You want pumpkin.	「好きな日本食」 S1: What Japanese food do you like? S2: I like Sushi. S1: Sushi. Why? S2: I like salmon.	「好きなキャラクター」 S1: What character do you like? S2: I like Doraemon. S1: Me, too. Why? S2: He is great.	T: I like sports. My uniform's color are red and white. My uniform's emblem is cherry blossoms. (桜のエンブレム) I like rugby. I can tackle very well. I am the captain of my team. Who am I?	T: I like movies. I study arts and crafts. I make animations. Some animations I made was "Tonari no Totoro", "Majo no takkyubin", and "Hauru no ugoku shiro". Who am I? (ALT より)	G1: I like music. I want a dog. I have a cap. I eat omu rice. I play table tennis. Who am I? (子どもの問題より)
目指す姿	動詞「want」を使い、好きなみそ汁の具を言う。	動詞「like」を使い、好きな日本食とその理由を言う。	動詞「like」を使い、好きなキャラクターとその理由を言う。	「Who am I?」クイズの概要を聞き取り、答えを考える。	「Who am I?」クイズの概要を聞き取り、答えを考える。	「Who am I?」クイズの概要を聞き取り、答えを考え、答える。
設定理由	<ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールである「Who is this?」クイズでは、様々な既習の動詞が使われる。第1時では、使用頻度の高い「want」を復習する。質問者は、ペアの答えを繰り返して確かめ、「1.5往復の対話」を行う。聞き取れなかったときは、「Pardon?」と聞き返す。 動詞を「want」に限定することで、答えに集中できる。 みそ汁は身近な話題であり、好みも様々である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールである「Who is this?」クイズで使える動詞「like」を復習する。「like」は何度か学習しており、少し慣れていると思われるため、第2時から、理由を尋ねる「質問」を入れ、「2往復の対話」を行う。その際、前時で行った「繰り返し」も入れる。 動詞を「like」に限定することで、日本食と理由に集中できる。 日本食は身近な話題であり、料理の種類が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールである「Who is this?」クイズで使える好きな理由(形容詞)の復習をする。理由を尋ねる「質問」を入れ、「2往復の対話」を行う。その際、答えに対する「一言感想」(Me, too. That's nice. Really?のうちどれか一つ)を入れる。 動詞を「like」に限定することで、キャラクターと理由に集中できる。 キャラクターは身近な話題であり、テレビやゲーム、商品など種類が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Who am I?」クイズを作る活動の導入において、クイズ作りのモデル文として参考にする。 Teacher's Talk を聞き取ったり、質問に答えたりしながら、クイズの答えを考える。 指導者がまとまった話をすることで、他の既習表現を思い出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Who am I?」クイズを完成させるため、クイズ作りのモデル文として参考にする。 Teacher's Talk を聞き取ったり、質問に答えたりしながら、クイズの答えを考える。 指導者がまとまった話をすることで、他の既習表現を思い出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで行う「Who am I?」クイズにおいて、クイズを出したり、聞き取って答えたりする中で、これまでに学習した既習表現を使いながらやり取りを行う。




A層 A児のUnit3における「英語でやり取りできる力」について

Unit3 He is famous. She is great. 「人物紹介」	「英語でやり取りできる力」		
	振り返りカードより	事前アンケート(6月)より	実際の「やり取り」の様子より
<p>10月10日(木) 第1時の Small Talk S1: What do you want in the miso soup? S2: I want pumpkin. S1: Pumpkin. 話題「好きなみそ汁の具」 ・「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」を初めて学習した。 ・動詞「want」を使い、好きなみそ汁の具を答える。 ・質問者は、ペアの答えを「繰り返し」、確かめる。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「むずかしかったけど、おもしろかった」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>質問文と答えの文を見れば、英文を言うことができたが、「対話を続けるための基本的な表現」等については、この段階ではまだ身に付いていないため、友だちとやり取りすることができていない。</p>	<p>《「やり取りできる力」を見取る項目》 〔友達に英語を話すとき〕 問4.「相手の表情を見ていますか」 A.「だいたいできている」 問5.「自分の思いや考えを言えていますか」 A.「だいたいできている」 問6.「今までに習った英語の言葉や文などを思い出していますか」 A.「できている」</p>	<p>Small Talk「What do you want in the miso soup?」で、黒板を見て言葉を確認してからペアに質問していた。自分が答えるときも、黒板を見て答え方を確かめてから「I want 厚揚げ.」と伝えていた。</p>
<p>10月17日(木) 第2時の Small Talk S1: What Japanese food do you like? S2: I like Sushi. S1: Sushi. Why? S2: I like salmon. 話題「好きな日本食」 ・「対話を続けるための基本的な表現」の「さらに質問」を初めて学習した。 ・動詞「like」を使い、好きな日本食とその理由を言う。 ・質問者は、前時に習った「繰り返し」を行い、理由を尋ねる「さらに質問」も行う。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「くりかえしやさらにしつもんなどうまくできた」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」と「さらに質問」を使ってやり取りしようとする姿があり、2往復のやり取りを行うまでに至っていないが対話を続けようとする意欲をもてるようになった。</p>	<p>〔友達の英語を聞くとき〕 問8.「相手の表情を見ていますか」 A.「できている」 問9.「うなずいたり、相づちを打ったりしていますか」 A.「できている」 問10.「相手の話の内容を想像していますか」 A.「だいたいできている」</p> <p>《アンケート結果からの考察》 A児は、自分では相手の表情を見ているつもりであるようだが、実際のUnit3のSmall Talkでは、黒板の質問文を1文ずつ見ていたため、相手の表情はあまり見ていなかった。ただ、相手が答えるのを待つときは、相手の表情を見ていた。</p>	<p>Small Talk「What Japanese food do you like?」で、黒板を見て言葉を確認してから「What Japanese food do you like?」と質問していた。ペアから聞かれたときは、「I like すき焼き.」と答えていた。その後、続けて「It's yummy.」と知っている英語を話し、対話を続けようとしている姿も見られた。</p>
<p>10月18日(金) 第3時の Small Talk S1: What character do you like? S2: I like Doraemon. S1: Doraemon. Why? S2: He is great. 話題「好きなキャラクター」 ・動詞「like」を使い、好きなキャラクターとその理由を言う。 ・質問者は、「繰り返し」を行い、理由を尋ねる「さらに質問」も行う。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「前回と同じで、くりかえしとしつもんができた」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」と「さらに質問」を使ってやり取りしようとする姿があり、対話を続けようとする姿が見られた。</p>	<p>この様子から、Unit3ではまだ、既習表現が身に付いておらず、英語に自信はないが、Small Talkの話題に興味をもち、既習表現を使ってペアと英語で話そうとしていることが分かる。</p>	

B層 M児の Unit3 における「英語でやり取りできる力」について

Unit3 He is famous. She is great. 「人物紹介」	「英語でやり取りできる力」		
	振り返りカードより	事前アンケート(6月)より	実際の「やり取り」の様子より
<p>10月10日(木) 第1時の Small Talk S1: What do you want in the miso soup? S2: I want pumpkin. S1: Pumpkin. 話題「好きなみそ汁の具」 「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」を初めて学習した。 動詞「want」を使い、好きなみそ汁の具を答える。 質問者は、ペアの答えを「繰り返し」、確かめる。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「ワカメやとろろなど、となりの人が言ったものをくり返せた」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ペアが言ったことをくり返すことや、ペアの答え方を参考に英文を言うことはできたが、自分で既習表現を思い出し、英語で表現することはできておらず、友だちとのやり取りは不十分である。</p>	<p>《「やり取りできる力」を見取る項目》 〔友達に英語を話すとき〕 問4.「相手の表情を見えていますか」 A.「できている」 問5.「自分の思いや考えを言えていますか」 A.「できている」 問6.「今までに習った英語の言葉や文などを思い出していますか」 A.「だいたいできている」</p>	<p>Small Talk 「What do you want in the miso soup?」で、最初は答え方が分からず「ワカメ」と答えたが、ペアの答え「I want とろろ & ワカメ。」を聞くと答え方が分かったようで、別のペアとの Small Talk では「I want ワカメ。」と答えることができた。そして、自主的に最初のペアともう一度 Small Talk を行い、「I want ワカメ & 豆腐。」と好きなものを追加して伝えることができた。ペアから言い方を学ぼうとする姿が見られた。</p>
<p>10月17日(木) 第2時の Small Talk S1: What Japanese food do you like? S2: I like Sushi. S1: Sushi. Why? S2: I like salmon. 話題「好きな日本食」 「対話を続けるための基本的な表現」の「さらに質問」を初めて学習した。 動詞「like」を使い、好きな日本食とその理由を言う。 質問者は、前時に習った「繰り返し」を行い、理由を尋ねる「さらに質問」も行う。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「くり返しをすることができた」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」を使ってやり取りしようとする姿があり、友だちとのやり取りを続けようとする意欲をもつことができた。しかし、「さらに質問」を含む「2往復のやり取り」には至っていない。</p>	<p>〔友達の英語を聞くとき〕 問8.「相手の表情を見えていますか」 A.「できている」 問9.「うなずいたり、相づちを打ったりしていますか」 A.「できている」 問10.「相手の話の内容を想像していますか」 A.「だいたいできている」</p> <p>《アンケート結果からの考察》 M児は、実際の Unit3 の Small Talk でも、相手の表情をよく見てうなずき、表情やジェスチャーで相づちを打とうとしていた。</p>	
<p>10月18日(金) 第3時の Small Talk S1: What character do you like? S2: I like Doraemon. S1: Doraemon. Why? S2: He is great. 話題「好きなキャラクター」 動詞「like」を使い、好きなキャラクターとその理由を言う。 質問者は、「繰り返し」を行い、理由を尋ねる「さらに質問」も行う。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「相づちを打って聞くことができた」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」と「一言感想」を使ってやり取りしようとする姿があり、対話を続けようとする姿が見られた。 今回は、ペアの答え方を聞く前に「I like ミニオンズ。」と文で答えられ、ペアからの「さらに質問」にも単語で答えられた。このやり取りから、「2往復のやり取り」ができる力が少しずつ育ってきていることがうかがえた。</p>	<p>この様子から、M児は Small Talk の話題に興味をもち、ペアと英語で話したいと思っているが、まだ言い方がよく分からない段階であり、ペアが先に答えると言いが分かり、言えるようになる。既習表現はまだ十分に身に付いていない。</p>	<p>Small Talk 「What character do you like?」で、「I like minions.」と答えられた。その後、「What minions do you like?」と聞かれると「Kevin.」と好きなミニオンを答えることができた。そして、ペアに「What character do you like?」と尋ね、「I like Snoopy.」と答えが返ってくると、「Snoopy.」と繰り返し、「It's cute.」と一言感想も言えた。</p>

C層 T児のUnit3における「英語でやり取りできる力」について

Unit3 He is famous. She is great. 「人物紹介」	「英語でやり取りできる力」		
	振り返りカードより	事前アンケート(6月)より	実際の「やり取り」の様子より
<p>10月10日(木) 第1時の Small Talk S1: What do you want in the miso soup? S2: I want pumpkin. S1: Pumpkin. 話題「好きなみそ汁の具」 「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」を初めて学習した。 動詞「want」を使い、好きなみそ汁の具を答える。 質問者は、ペアの答えを「繰り返し」、確かめる。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「おぼえてなかった」  友だちとやり取りをしようとする意欲はあるが、英語で表現することはできず、既習表現も身に付いていないため、日本語のみのやり取りとなっている。</p>	<p>《「やり取りできる力」を見取る項目》 〔友達に英語を話すとき〕 問4.「相手の表情を見えていますか」 A.「だいたいできている」 問5.「自分の思いや考えを言えていますか」 A.「だいたいできている」 問6.「今までに習った英語の言葉や文などを思い出していますか」 A.「だいたいできている」</p>	<p>Small Talk「What do you want in the miso soup?」で、「大根」の言い方が分からず、日本語で「大根」と答えた。「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」を学び、ペアの答えを聞いた後、ペアの好きなものを「油揚げね」と言って繰り返していたが、英語は話していなかった。</p>
<p>10月17日(木) 第2時の Small Talk S1: What Japanese food do you like? S2: I like Sushi. S1: Sushi. Why? S2: I like salmon. 話題「好きな日本食」 「対話を続けるための基本的な表現」の「さらに質問」を初めて学習した。 動詞「like」を使い、好きな日本食とその理由を言う。 質問者は、前時に習った「繰り返し」を行い、理由を尋ねる「さらに質問」も行う。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「きょうはちゃんといえた」  「What do you like…?」と完璧ではないが、英語を使ってみようという姿が見られた。友だちと英語でやり取りしてみたいという意欲の向上が見られる。</p>	<p>〔友達の英語を聞くとき〕 問8.「相手の表情を見えていますか」 A.「だいたいできている」 問9.「うなずいたり、相づちを打ったりしていますか」 A.「できている」 問10.「相手の話の内容を想像していますか」 A.「できている」</p> <p>《アンケート結果からの考察》 T児は、実際のUnit3のSmall Talkで、相手の表情を見てやり取りをしようとする姿が見られた。質問するときには半分英語が言えていたが、自分のことを話すときは全く英語が出てこないため、日本語や表情、ジェスチャーのみであった。</p>	<p>Small Talk「What Japanese food do you like?」で、「What do you like…?」とペアに英語で言い、答える時は「ラーメン」と一言で返した。表情やジェスチャーを交えて答えたり繰り返したりする姿が見られた。</p>
<p>10月18日(金) 第3時の Small Talk S1: What character do you like? S2: I like Doraemon. S1: Doraemon. Why? S2: He is great. 話題「好きなキャラクター」 動詞「like」を使い、好きなキャラクターとその理由を言う。 質問者は、「繰り返し」を行い、理由を尋ねる「さらに質問」も行う。</p>	<p>《「やり取り」に対する子どもの振り返り》 「ぜんぶできました」  「対話を続けるための基本的な表現」の「繰り返し」を使って、友だちとの英語でのやり取りにチャレンジする姿から少しずつではあるが、英語でのやり取りに自信がもてるようになってきた。</p>	<p>この様子から、T児はSmall Talkの話題に興味をもち、ペアと英語で話したいと思っているが、まだ言い方が分からず、自分のことを話すときは全く英語を話していない。既習表現が身に付いていない状況である。</p>	

